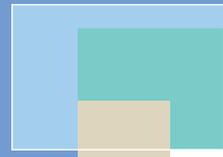


道路整備の効果



鉄道高架化による効果

JR鹿児島本線・篠栗線の高架切替による効果(平成16年3月13日全線高架切替完了)

平成16年3月13日の全線高架化により事業区間内の11箇所の踏切が全て除去されたため、踏切事故の解消、踏切遮断による交通渋滞の大幅な緩和が見込まれ、通勤・通学等の自動車交通の円滑化が図られます。

(平均踏切遮断時間)

6.6時間【平成元年3月調査】

(事業着手前)

3.8時間【平成15年1月調査】

(下り線高架切替後)

全線高架切替完了

高架化によって除去された踏切(全11箇所)



● JR鹿児島本線 10箇所

● JR篠栗線 1箇所

● 新町1号踏切における渋滞状況

踏切除去前



平成15年11月撮影

踏切除去後



平成16年4月撮影